



まだ 104 位!?

～女性が輝く社会?～

世界ランキング 104 位はまずいでしょ～

<世界経済フォーラム 2014 年報告による日本のジェンダーギャップ指数は 142 か国中 104 位>

昨年は 2013 年のジェンダーギャップ指数「105 位」のデータを基に、格差を減らすためのイベントを行い、提言をまとめて関係方面に手渡しました。2014 年のデータでは 104 位とはいえ、経済分野がわずかに改善したものの、他の政治・教育・健康とも後退、これではまずい。どうすればジェンダーギャップを EU 並みに縮小することができるか。提言をまとめる第 2 弾です。

日時 2015 年 2 月 1 日 (日)
13 時 30 分から 16 時 30 分

会場 東京ウイメンズプラザ 視聴覚室

アクセス <https://www.tokyo-womens-plaza.metro.tokyo.jp/contents/map.html>

□プログラム

第 1 部 13:30～15:45

パネル・ディスカッション及び参加者を交えての討論

コーディネーター 平松 昌子 (日本BPW連合会)

パネリスト【政治】川橋 幸子氏(クオータ制を推進する会)

【経済】名取 はにわ (日本BPW連合会理事長)

【教育】村松 泰子氏(日本女性学習財団理事長)

【健康】黒崎 伸子氏(女性医療ネットワーク理事)

第 2 部 15:50～16:30

交流会

□参加費 1,000 円(資料、飲み物等)

□申込み 「2/1 参加希望」と明記の上、「氏名」「連絡先(E-mail or TEL or FAX)」をご記入いただき、下記まで E-mail または FAX でお申し込みください。先着順 定員 60 名

E-mail sympo2014@bpw-japan.jp FAX 03-5304-7876

主催 特定非営利活動法人日本 BPW 連合会

共催 公益財団法人日本女性学習財団

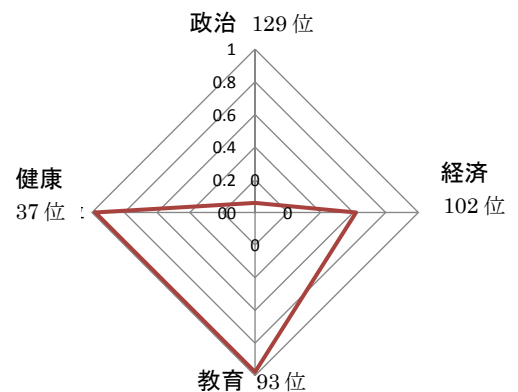
後援 クオータ制を推進する会

ジェンダーギャップ指数 (The Global Gender Gap Index = GGGI) とは

男性と女性の格差の指数で、2006 年の「世界経済フォーラム(ダボス会議)」で創設された。男女格差の解消が世界経済の発展につながるとして、格差解消に役立つ資料として、国別・地域別に、経済・政治・教育・健康維持の 4 項目を算出根拠としている。

日本の現状 2014 年 (2013 年)

分野	ギャップ指数	順位
政治	=0.058	129 位 ↓ (118 位)
経済	=0.618	102 位 ↑ (104 位)
教育	=0.978	93 位 ↓ (91 位)
健康	=0.979	37 位 ↓ (34 位)
総合	=0.685	104 位 ↑ (105 位)



日本のジェンダーギャップ指数推移

	総合	政治	経済
2013 年	105 位/136 か国	118 位	104 位
2012 年	101 位/135 か国	110 位	102 位
2011 年	98 位/135 か国	101 位	100 位
2010 年	94 位/134 か国	101 位	101 位
2009 年	101 位/134 か国	110 位	108 位
2008 年	98 位/102 か国	107 位	102 位
2007 年	91 位/128 か国	94 位	97 位
2006 年	80 位/115 か国	83 位	83 位

BPW とは Business and Professional Women の略で、働く女性の利益を促進し、女性の社会的地位と職業水準の向上をはかるとともに、国内および国外の働く女性の親交と理解を深め、世界平和に寄与することを目的とした団体です。国連の経済社会理事会の諮問機関として一般協議資格をもつ NGO(非政府組織)の団体 BPW International に加盟。国内では全国に 20 のクラブとアソシエーツがあります。

パネリスト・コーディネーター紹介

【政治】川橋 幸子氏(クオータ制を推進する会)

1961年東北大学法学部卒業。旧労働省、旧総理府、所沢市(助役)勤務、1992年参議院議員(2期12年)。引退後、NPO法人経営を経て、2012年よりWIN WIN 推薦運営委員。2012年発足の「クオータ制を推進する会」の実務的責任者として政治の分野におけるクオータ制の推進に活躍。クオータ制の推進をめざす『WIN WIN 編著(第4章担当)(パド・ウイメンズ・オフィス発行2013年)

【経済】名取 はにわ(NPO法人日本BPW連合会理事長・元内閣府男女共同参画局長)

1995年、総理大臣官房男女共同参画室長として、国連北京女性会議に参加し、以降男女共同参画社会基本法の成立や第2次男女共同参画基本計画の策定など、多くの時間を男女共同参画の政策作りの責任者として携わってきた。2013年より日本BPW連合会の理事長として、男女の賃金格差の解消をもとめる【イコールペイデー運動】や企業経営者の理解を求める活動(WEPs)等に取り組む。

【教育】村松 泰子氏(公益財団法人日本女性学習財団理事長)

NHK放送文化研究所研究員、東京学芸大学教授・理事・学長を経て、2014年6月より現職。専門は社会学、とくにメディアとジェンダー、教育とジェンダー。近年の共著書に『学校教育の中のジェンダー』(日本評論社、2009)、『高校の「女性」校長が少ないのはなぜか』(学文社、2011)、『テレビ報道職のワーク・ライフ・アンバランス』(大月書店、2013)ほか。

【健康】黒崎 伸子氏(女性医療ネットワーク理事)

医師(長崎大学卒)。専門は小児外科・一般外科。2001年より「国境なき医師団」からスリランカ、ソマリア、シリアなど計11回派遣され、人道的医療活動に従事。女性医療ネットワーク理事として、女性の健康問題に関わる。地元・長崎での診療活動にとどまらず、国連総会への日本政府代表団にNGO代表として参加するなど、活動は幅広い。

【コーディネーター】平松 昌子(NPO法人日本BPW連合会)

放送業界で30年、情報誌の業界で約5年、働き続けた。この間常に問題として向き合ったことは「女性はいつも損をしているのではないか」という疑問。今もそれが解決しないままNGO活動として「女性が人間として生きるために」というテーマを抱えて走っている。『女ひとりベトナムに行く』(講談社、1965) 『女がメディアで生きる』(ドメス出版、2013) 他

会場アクセス

- JR・東急東横線・京王井の頭線・東京メトロ副都心線 渋谷駅 宮益坂口から徒歩12分
 - 東京メトロ銀座線・半蔵門線・千代田線 表参道駅 B2出口から徒歩7分
- B2出口は階段のみです、エスカレーター・エレベータ利用の場合、B3出口を利用し、青山通りを横断してください



青山通り(国道246号線)オーバルビルの前にあるこの看板が目印です。

